

### 「3. 協議の経過と提案」の概要

[テーマ1] 青少年の中に「気づき」を生み、意識づくりに努めること

**提案** 青年リーダーの育成のためには、学校の部活動、町会・自治会や青少年団体の活動等を通して、青少年（特に中高生）に社会参加の機会を与え、動機づけを促すことが必要ではないか。

#### ◆学校と地域の連携による社会参加活動の充実（地域のまつり、地場産業体験）

意識づくり

部活動を通して活動のきっかけに

地場産業体験を通じた社会との関わり

#### ◆アプローチ方法の検討（回覧板、参加者への呼びかけ、学校行事の活用）

広報活動の必要性

様々な形での情報発信方法

活動中のPR活動の方法

体験を通じたPRの方法

小学校入学前の保護者に対するPR活動

#### ◆ボランティア教育と保護者の理解

学校のボランティア教育

地域の活動を通じたボランティア教育

活動に対する保護者の理解

[テーマ2] 青少年にさらなる活動の場を与え、意欲と主体性を育てること

**提案** 様々な青少年が、良質な体験や経験を重ね、意欲や主体性を持って成長できるような活動の場を創出するためには、学校や地域、行政、青少年団体等の関わり方や、事業の実施方法を見直すことが必要ではないか。

#### ◆学校・PTA行事の活用

バザーやスクールキャンプなどへの参加

小学校と中学校の連携、

PTA連合会との連携

#### ◆体験事業の実施方法の検討（通学合宿ボランティア）

#### ◆多様な青少年への働きかけの検討（外国人、非行少年、困難を抱える青少年）

[テーマ3] 地域の大人が青少年を見守り、支え、次につなぐこと

**提案** 学校や地域、行政、青少年団体等の積極的な連携など、大人同士の関わりがよりよく変化することが、地域における青少年の健全育成や、次代を担う青年リーダーの育成にとって必要ではないか。

#### ◆家庭・学校・地域の連携強化（学校応援団、おやじの会、トップのあり方）

地域と学校との関わり

地域性の違いによる難しさ

小中学校の違い

多様な団体との連携

学校と地域との話し合いの場づくり

公民館（行政）の役割

#### ◆あいさつは大人から（大人が変われば子どもも変わる）

保護者のあいさつ

大人の意識を変える

子どものあいさつ

子どもを褒めること、叱ること

## [青木中学校における夢わーく（職場体験学習）事業]

青少年問題協議会の中で、委員より中学生の地場産業体験の実施の提案がなされ、それを受け、別の委員を含めて青木中学校長と調整し、平成29年2月に実施したもの。

実施事業所名：姉崎興業株式会社

実施内容：安全柵の設置と安全設備の設置



## 参加した中学生の声

- ・強風が吹く中での安全柵の設置作業の寒さが大変だった。
- ・作業途中で後ろを見たときの自分のやってきた成果や距離を見たときに喜びややりがいを感じた。
- ・安全に気をつけて設備を設置していることがよく分かった。
- ・普段はやらない、教えてもらえないようなことをやれ、貴重な体験ができた。仕事は大変だが、その中でもやりがいを感じられた。

## 青木中学校の先生の声

- ・普段とは違った環境で、また大人に囲まれながら働くことを体験することというのは、将来子ども達が、今回体験した職種に就かなかつたにせよ、忘れられない経験になったのではないかと思います。

## 受け入れ会社の声